

校長 だ よ り
～ 第17回 学園祭によせて ～

平成24年9月24日（月）

校長 與那覇 健勇

笑顔で出会う物語達（ストーリー）
最高の仲間と最硬の絆
原石は今 輝きだす
～ 心にきざみ新たな校舎（ステージ）へ ～

これが全校生徒の作品の中から選ばれた今年の学園祭のテーマです。「みんなの心を一つにする素晴らしい統一テーマ」との好評を得て選ばれたものだと聞きます。とても素晴らしいテーマだと思います。

これを作った 3年6組の古波蔵 南海 さんは、「旧校舎の思い出を胸にきざみつつ、新しい校舎で頑張っていこうという思いで作りました。高校生活で何かがのこせて良かったです」とコメントしています。

「読高生はダイヤモンドの原石である」平成14年4月に本校校長に就任なされた仲村守和先生が初めて言われた言葉ですが、いたるところにそのフレーズは根を張り、岩をも砕いて、命を得て、多くの卒業生がいまだに自分たちはダイヤモンドの原石ということのを口にする程になりました。ご存じの通りモースの硬度計では自然界にある石の中でダイヤモンドがいちばん硬い（断トツの硬度 7000 HK）とされていて、テーマの中の‘最高の仲間と最硬の絆’は素晴らしいかけ言葉です。

しかし、その硬い原石は普通の石では磨くことができません。ダイヤモンドの原石はダイヤモンドでしか磨けないんです。読高の先生方はすでに輝けるダイヤモンドだったのです。学園生活の中で知らず知らずに磨かれていき、やがて皆さんがダイヤモンドになる日を待ち望んでいるのです。余談ですがスペイン語ではダイヤモンドをディアマンテと言うんです。あのディアマンテスはダイヤモンドに複数形のSがついていてダイヤモンド達だと自らを称しているのです。

さあ、平成24年9月29日・30日の両日

クラスの心を一つにした皆さんのそれぞれに輝く
二日間に凝縮されたストーリーを
～ 展開して下さい ～
～ご来場の皆さま、どうぞ堪能して下さい～